

安心安全な
スポーツの実現の
ために声をあげよう

Voice

Safe Sport Voice Action

なぜ「安心安全なスポーツ」づくりに取り組むの?

スポーツの現場で起きている課題 「子どもへの暴力」

スポーツは子どもに成長や喜びをもたらす一方で、暴力・暴言、ハラスメント、虐待といった問題も存在します。2024年度、日本スポーツ協会が設置する「暴力行為等相談窓口」に寄せられた相談件数は過去最多の536件でした。スポーツにおいて、安心・安全な環境づくりは、いま最も重要な課題です。



それって本当? ~誤った思い込みから、新たな価値観へ~



厳しい指導が
子どもを強くする



勝利のためなら
なんでもOK



スポーツって
“そういうもの”



子どもは安心と
尊重の中でこそ
力を伸ばす。



スポーツは
子どもの喜びや健全な
成長のためにある。



スポーツは
誰もが安心して
楽しめる場であるべき。

恐怖や体罰は子どもの成長を妨げ、心に傷を残します。一方で安心安全な場は、子どもの主体性や自尊心を育み、自ら考え行動(挑戦)したり、自分や周りを信じて取り組む姿勢を育みます。

偏った勝利至上主義は子どもの権利や安全を犠牲にします。勝敗を決めることが必ずしも悪ではありませんが、子どもには、安心して仲間やライバルと切磋琢磨できる場が必要です。

“そういうものだから仕方ない”という思い込みや諦めが、暴力やハラスメントを見えなくしてしまいます。今こそ、このような現状を一緒に変えていきましょう。

Point!

安心して失敗できる場所が大切

うまくいかない時や失敗した時に、近くにいる指導者や保護者が寄り添い支えてくれる経験は、子どもの「立ち直る力」や「やり直す勇気」(レジリエンス)を育みます。スポーツだからこそ、安心して失敗を重ね、挑戦し続ける経験ができるのです。この経験は子どもが大人になった後も、その子を支える大切なチカラになります。

S.C.P. Japanは、こうしたスポーツにおける誤った思い込みを手放し、すべての子どもが安心してスポーツに参加できる社会を広めていくために活動しています。

S.C.P.Japanの セーフガーディングの取り組み

セーフガーディングとは

子どもや選手をあらゆる虐待や暴力から守り、安全で安心できる環境をつくるための組織的な取り組みです。



セーフガーディングポリシー・
行動規範の設置



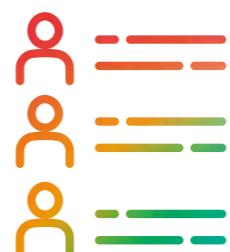
セーフガーディング
担当者の設置



スタッフ・指導者への
啓発や研修の実施



子ども自身や保護者への
啓発の実施



安全な採用プロセスの設置
活動に関わるスタッフや指導者の身元や経歴の確認、セーフガーディングに対する誓約など



他機関との連携・協力

外部への働きかけ

S.C.P. Japanではこれまでの経験と知見を活かして、スポーツ関連の協会や団体等に対して次のようなサービスを提供しています。



研修・ワークショップ

指導者・保護者・役員向けの
セーフガーディング研修



方針策定や仕組み
導入のサポート

スポーツ団体のセーフガーディング
ポリシーや仕組みづくりを支援



eラーニング
コースの提供

誰でも気軽にセーフガーディングを
学べるeラーニングの提供

安心・安全なスポーツ環境を広げていくために、皆さまと一緒に取り組んでいきたいと考えています。
ぜひお気軽にお問い合わせください。

CONTACT

お問い合わせ

一般社団法人S.C.P.Japan 090-9974-1012(担当 井上)

mail info@scpjapan.com

Web <https://scpjapan.com/>



お問い合わせフォームへ

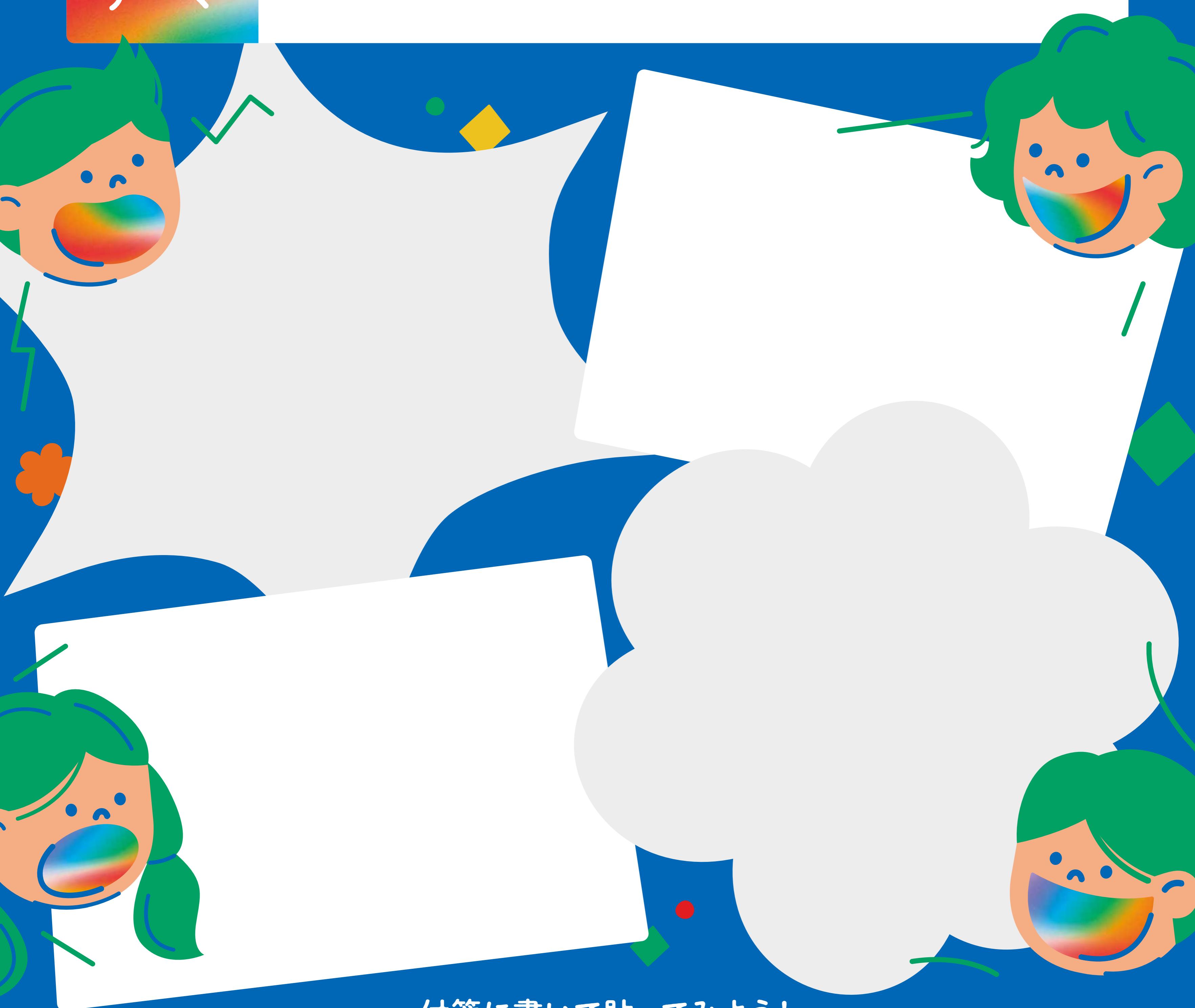
子どもの 声を聴こう

Safe Sport Voice Action

子どもの声に耳を傾け、子どもたちが意見を伝え参画できる仕組みをつくること。

それが、安心で安全なスポーツ環境(セーフガーディング)を実現するために欠かせません。子どもたちの声を未来につなげよう！

テーマ



付箋に書いて貼ってみよう！

写真を撮って、ハッシュタグ #SafeSportVoiceAction #子どもの声を聴こう で発信しよう。